

姉妹都市・セーレム市との交流が二十周年

友人から家族へ

問い合わせ：国際交流課国際交流担当・田内線2142



合意書への署名を終えて（セーレム市議会議事堂）

川越市とセーレム市（米
国・オレゴン州）が姉妹都市
提携してから二十年。これを
記念して、ことはセーレム
市、来年は川越市でお祝いし
ようということになりました。
そして、七月十一日から

十八日まで、舟橋功一市長、
山口肇^{やまぐち}議長をはじめとする
市議会議員団、さらに川越商
工会議所や川越市姉妹都市交
流委員会を含む市民の皆さん
等の合計三十六人でセーレム
市を訪問しました。

今回は、次の二十年に向け
て、両市の市長間・議長およ
び議員間・商工会議所間・ロ
ータークラブ間・姉妹都市
交流委員会間でそれぞれ具体
的な話し合いを行いました。
この結果、両市間の姉妹都市
関係をいっそう発展させる合
意書に両市長、両議長、両姉
妹都市交流委員会代表が、多
くの両市民が見守る中で署名
しました。セーレム市のジャ
ネット・テラー市長は、「この
二十周年を契機としてさら
にお互いの理解を深め、こ
の経験若くは世代に引き継
いでいきたいです。そして、
両市は友人から家族になり、
両市民は親せきになりました
」と高らかに宣言しました。

セーレム市議会議事堂で行
われた合意書への署名式のも
うは、インターネットを通じ
て世界へ配信されました。

その後、アーサー・バーマ
ンさんが代表を務めるセーレ
ム市姉妹都市交流委員会の皆
さんの案内で、オレゴン州庁
舎など、市内の施設を見学し
ました。州庁舎では、開催中
の州議会を傍聴しました。ま
た、プリングルコミュニティ
ホールでは、川沿いの庭を見
学しました。この庭には、
昨年の夏、セーレム市に派遣
された川越市中学生交流団の
皆さんが、ボランテニア活動
で地元の皆さんといっしょに
植樹をした木があります。そ
の時、両市の若者の姉妹都市
交流への思いを感じることが
できました。

セーレム市での二日目、両
市の二十周年を記念する式典
が開催され、百五十人ものセ
ーレム市民の皆さんが参加し
ました。テラー市長は「今後、
交流をいっそう発展させ
ていきたいです。また、来年
は多くのセーレム市民と共に
川越を訪れたいです」と話し
ました。これに対して舟橋市
長は、「今回の訪問は、次の
二十年への第一歩として大き



ウィラメット大学を訪れた市民の皆さん

な役割を果たすものです。来
年は、テラー市長はじめ、
セーレム市民の皆さんに川越
を訪れてもらいたいです」と
話しました。また、山口議長
は「セーレム市との交流を通
じて、市民の国際性を養い、
住民主体の国際感覚あふれる
まちづくりが推進されること
が重要です」と述べました。
その後、舟橋浩子市長夫人に
よる日本舞踊が披露され、元
川越市英語指導助手の皆さん
が通訳を務める中、式典は和
やかに進みました。川越市民
の皆さんは、セーレム市民の
皆さんに積極的に話しかけ、
会場のあちこちで小さな親せ
きが生まれていました。

～ひとくち情報～ ミニ・インフォメーション ～ひとくち情報～

- 川越市社会福祉審議会地域福祉専門分科会 保健福祉推進課保健福祉推進担当・田内線2513
8月19日(金)、午後1時30分～。本庁舎7階7A会議室。傍聴は、当日直接会場。
- 第11回川越市介護保険事業計画等推進委員会 介護保険課計画担当・田内線2563
8月24日(水)、午後1時30分～。やまぶき会館会議室。傍聴は、当日直接会場。
- 埼玉県市町村申請・届出サービスが始まります 情報統計課情報化推進担当・田内線2261
市では、埼玉県および県内の市町村と共同で、住民票の写しの請求などをインターネットを利用して行うサービスを8月24日(水)から開始します。詳しくは、8月25日発行の広報川越および市ホームページをご覧ください (<http://www.city.kawagoe.saitama.jp>)。
- コミュニティ助成事業 市民活動支援課市民活動支援係・田内線2413
霞ヶ関北自治会では、(財)自治総合センターが実施している平成17年度宝くじ助成を受けて、太鼓・太鼓台を購入しました。コミュニティ助成事業では、自治会が活動に必要な施設や設備に対する助成をしています。詳しくは、お尋ねください。

東京電機大学大学院サテライト講座「豊かな人間生活^{はぐく}を育むテクノロジー」

今回の講座は、東京電機大学の全面的な協力により、大学院理工学研究科の正課授業を、駅から近く、市民の皆さんが受講しやすい会場で、社会的に要望の強いテーマを設定し、一般に公開するものです。

特に今回の企画では、同大学教授陣が日夜研究を進めているテクノロジー（技術）の中でも、社会に役立つ日が近いものを積極的に紹介していきます。また、就労者支援の立場からも有意義な講座であると考えています。

なお、この講座は科目等履修生登録をすることにより、所定の成績を修めると理工学研究科の単位が認定されます。単位認定を希望する方は、同大学理工学部事務部（TEL296-2911）に事前にご連絡ください。

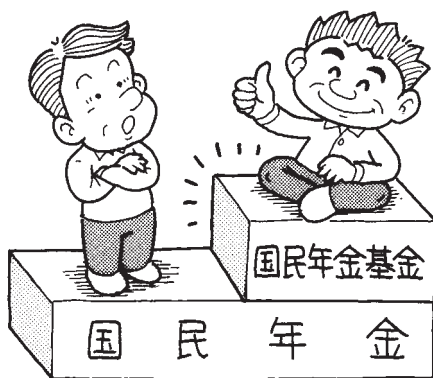
開催日	テーマ	講師
1部……健康と科学技術		
9月24日(土)	①健康と膝関節	東京電機大学大学院理工学研究科教授・里見忠篤さん
	②再生医学の将来展望	同教授・立石哲也さん
10月1日(土)	①生物に学ぶ機能材料	同教授・浅岡照夫さん
	②手術支援用ロボット	東京大学大学院情報理工学系研究科助教授・正宗賢さん
10月8日(土)	①看護・介護動作支援技術	東京電機大学大学院理工学研究科教授・小川鑑一さん
	②福祉ロボットの実用化研究	同教授・斎藤之男さん
2部……物作り技術と人間生活		
10月15日(土)	①自動車の走行原理と技術	東京電機大学大学院理工学研究科教授・佐野彰一さん
	②音・振動と日常生活	同教授・佐藤太一さん
10月22日(土)	①マイクロマシンのいろいろ	同助教授・辻裕一さん
	②知能化された生産機械	同教授・樫村幸辰さん
10月29日(土)	①自動販売機の省エネ対策	同教授・国吉光さん
	②目に見える熱現象	同教授・亀岡利行さん

時間…①＝午後1時30分～3時②＝午後3時15分～4時45分 定員…60人（抽せん、市外在住者も受講可） 会

場…9月24日＝川越福祉センター▶10月1日以降＝三井住友海上川越ビル8階（協田本町） 受講料…3,000円

（1回目の講義時に集金） 申し込み…8月23日(火)までに電話またはEメールで大学設置準備室（Eメールの場合は、住所・氏名・ふりがな・性別・年齢・職業・電話番号・Eメールアドレスを明記）

問い合わせ…大学設置準備室大学設置準備担当・TEL内線2171▶Eメール：daigakujunbi@city.kawagoe.saitama.jp



国民年金基金とは

国民年金基金に加入すること
で、国民年金被保険者の方も、
老齢基礎年金に上積みした年金
が受けられます。国民年金基金
は、厚生労働大臣の認可を受け
た公的な法人です。設立から運
営までを厚生労働省が指導・監
督しているので安心して加入で
きます。また、掛金は全額社会
保険料控除を、受け取る年金に
ついては公的年金等控除を受け
ることができます。

加入できる方

二十歳以上六十歳未満の、日
本国内に居住する国民年金第一
号被保険者（自営業者など）で
す。

* 国民年金保険料を全額免除・
半額免除されている方、国民年
金任意被保険者、農業者年金基
金に加入している方は加入でき
ません。

ません。

加入のしかた

埼玉県国民年金基金に「国民
年金基金加入^{申し込み}書」を提出
します。

* いったん加入すると、個人の
都合で任意に脱退することはで
きません。また、脱退時に、掛
金は戻りません。

掛金について

加入した年金の型・口数・加
入・増口時の年齢によって決ま
ります。掛金は、指定の銀行ま
たは郵便局の口座から自動的に
引き落とされます。

国民年金との関係

国民年金基金に加入している
方は、国民年金の付加年金の保
険料を納めることはできません。

また、国民年金が未納となっ
た場合、その期間に対する基金
の年金や遺族一時金は支給され
ません。

資料の請求・加入の申し込み
は、埼玉県国民年金基金（〒3
30-0064さいたま市浦和
区岸町七丁目一・二・TEL01
20-654192）にお尋ね
ください。

問い合わせ…国保年金課国民年
金係・TEL内線2481